

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0272000282		
法人名	社会福祉法人宏仁会		
事業所名	清風荘グループホーム		
所在地 (電話番号)	〒039-3321 青森県東津軽郡平内町小湊字薬師堂63-23 (電話) 017-755-5531		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月5日	評価確定日	平成21年12月10日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算 8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	3,000 ~ 冬期6,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(9月 16日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢 平均	89 歳	最低	81 歳
		最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	たざわクリニック、平内中央病院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>山林に囲まれた所に立地し静かな環境にある。事業所の玄関ドアは民家を思わせる引き戸であり、玄関にはススキ、栗の実が飾られ季節が感じられる。事業所内においても馴染みの家具、小物、長いが所々に置かれている。利用者が力を発揮する環境作りの取り組みや、地域行事への参加、ドライブ等の外出支援等、個々に合わせたケアの提供がされている。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>同業者との交流を通じたサービスの質の向上の取り組みは、今後の課題である。チームで作る利用者本位の介護計画は、家族へのアプローチ方法の見直しをして行く予定である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で取り組む為2つのグループで項目を分けて評価し、管理者、ケアマネージャと話し合い作成している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月毎に運営推進会議を開催している。事業所の現状報告や職員の研修報告、参加メンバーから意見を貰うなど、サービスの質の向上へ努めている。町から認知症の相談や一時受け入れ要請などの対応をしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>意見箱を設置し意見や苦情を出せる様になっている。運営推進会議では家族の意見、要望が出ておらず、運営に反映されていない。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近くに民家がなく日常的な交流となっていないが、地域の祭りやイベントへの参加、買い物などの外出の機会を増やす取り組みをしている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で作り上げた理念である。馴染みの関係のなかで、一人ひとりに寄り添い支えて行くサービスを理念としている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送りや会議等で理念に触れ、理念の実践に向けた取り組みをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町主催の老人会がなくなった為、事業所が町に出て行きボランティアを含んだ老人会やエコ活動を開催するなど、地域貢献をしている。自治会加入はしていないが、地域でおこなう祭りやイベントへの参加、買い物に出かけた時に地域の方と交流されている。職員もイベントのボランティアとして参加している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で取り組む為2つのグループで項目を分けて評価し、管理者、ケアマネージャと話し合い作成している。評価の意義を理解しており、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に運営推進会議が開催され、サービスの取り組み状況や職員研修の報告をしている。話し合いをした中で意見をサービス向上に活かしている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所の現状や地域の実態を話し合い、共有しサービスの質の向上へ取り組んでいる。町からは認知症の相談や日中の受け入れ依頼がある。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在対象者はいないが勉強会は年1回行っている。外部研修にも参加しており、必要時活用出来る体制である。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会を開いたり、職員同志で確認しながら防止に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に説明し納得していただいている。看取りについても説明し理解を得ている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月グループホーム新聞を家族へ送付している。その時に個々の暮らしぶりや健康状態、近況文をそえて報告をしている。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人全体の家族会議の時に意見をいただいております。出された意見については、改善に向けた取り組みをしています。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内での職員異動がある。異動時は利用者のダメージを最小限に抑えるため、馴染みの職員と交替職員と一緒に利用者へ対応するなどの配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内研修や外部研修には積極的に参加している。全職員が均等に研修参加出来るように計画がされている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流はない。今後、グループホーム同士の交流を考えて行く。		同業者との交流を持つことで勉強会や相互の活動を通して、サービスの質の向上につながる取り組みに期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に遊びに来ていただくなど、環境に馴染んでいただけるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から味付けや野菜の作り方を教わったりしながら共に支えあう関係作りがされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は家族からの情報や、利用者の表情、態度から意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>面会時に家族の要望を聞き、介護計画作成に反映させているが家族へのアプローチ不足が感じられる。</p>		<p>家族からの要望を聞くときのアプローチの方法を考え、利用者、家族の要望を取り入れた介護計画の作成に期待したい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎に介護計画の見直しをしている。利用者の現状を見極め、さらに家族との連絡を密にし、その時々のお気づきを職員と家族で話し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々のお要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者、家族の状況や要望に応じ、外出、帰宅の送迎等、柔軟な支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用契約時に医療情報を得て利用者、家族の要望に沿う受診支援方法を確認、対応している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用契約時に説明をしている。家族、医師、看護師をまじえて話し合いをし、全職員で方針を共有している。終末期を事業所で迎えた事例があった。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>勉強会で知識を深め、全職員が周知している。日々の関わりの中でプライバシーを損なわない対応がされている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切に、寄り添い、ゆっくり過ごしている。散歩、畑仕事、墓参りなど希望にそった支援がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者が作った野菜を活用した食事や、盛り付けから片付けまでを職員と一緒にこなったり、職員と利用者が同じテーブルで楽しく食事をされている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の希望に合わせた入浴の支援が行われており、安心と満足感が得られる配慮がされている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴や力を活かし、一人ひとりが役割を持って意欲的に活動している。ドライブや買い物など気晴らしの支援をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>個々のニーズや気分、体調に合わせて買い物や散歩など、日常的な外出支援がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会で職員の意識向上を図ると共に、全職員が拘束をしないという認識のもとにケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関に鍵をかけていない。利用者の外出希望があったときは、さりげなく声がけをしたり、散歩やドライブに同行するなどの支援をしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回災害訓練を行っている。母体施設がすぐそばにあり、何かあれば協力が得られる体制である。事業所独自では地域の人々の協力を得られる働きかけがされていない。</p>		<p>夜勤者職員の誘導の限界を踏まえたいざと言う時に備えて、地域の人々や他の事業所の協力が得られる取り組みが必要と思われる。夜間訓練を行うことの検討が望まれる。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者個々の食事摂取量、水分摂取量をチェック表を活用し把握している。医療機関への相談や栄養士からアドバイスをいただき、ケアに反映している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染予防マニュアルがある。職員、利用者共にインフルエンザ予防接種を行っている。職員は手洗い、うがいの実施を毎日チェック表を活用し、予防に努めている。家族など外部からの来訪者へは、手洗い、うがい、マスク着用をしていただく取り決めがある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのある昔ながらの家具、小物がいたる所に置かれてあり、ススキや栗の実が飾られ、季節感を刺激する環境作りがされている。長いすや小上がりが設けられ、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の馴染みの写真や使い慣れた家具が配置され、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。